

■山葉寅楠 楽器製造技術者、実業家。{日本楽器製造(ヤマハ)}を創業、ピアノの国産化に成功し、大発展の基礎。

やまばとらくす

尊徳報徳論・1851＝ 紀州徳川の江戸藩邸で、天文係をしていた藩士山葉孝之助の三男に生まれる。

ペリー来航・1853＝ 2歳：

桜田門外変・1860＝ 9歳：

父が後に榎本武揚軍に招請されるほどの万能技術者だった父の手先の器用さを受け継ぎ、また、父の仕事を見たり、器具や機械をいじったりして育つうち、器具や機械類に関心をもつようになる。

一方、小野派一刀流の達人として藩内では一目置かれる存在にもなったが、

大政奉還・・1867＝16歳： 鳥羽・伏見の戦いで、藩意に背いて旧幕府側に就いたため、勘当され、母方の里預かりの塾居の身となり、三味線や長唄で気を紛らせていたが、

明治維新・・1868＝17歳： 維新後、家出して大阪に出て、時計商に奉公するも、飽き足らず、

戊辰戦争終・1869＝18歳：

廃藩置県・・1871＝20歳： 長崎に赴いて、イギリス人のもとで時計の修繕法を学び、

明治6年政変 1873＝22歳： この年、時刻の数え方が西洋の12時制に変わる。

貿易商ともつきあって商売のイロハも学んで、

西南戦争・・1877＝26歳： 大阪に戻り、渡り職人して貯めた金で、

大久保暗殺・1878＝27歳： 大和高田に理化・医療器械師を兼ねる小さな時計店を開業、

明治14年政変 1881＝30歳：

帝国大学始・1886＝35歳： 賭博で失敗して文無しとなり、夜逃げ同然で大和高田を出、渡り職人に戻って、上京するも対応できず、修理のため浜松病院に赴いたのを機に同地に住み、

国民之友始・1887＝36歳： 小学校のオルガン修理を依頼されたのを契機に、飭職人河合喜三郎とともに、オルガン製作に取り組み、

初の対等条約 1888＝37歳： 音楽取調掛伊沢修二の助言をも得て成功すると、

帝国憲法発布 1889＝38歳： *浜松に合資会社{山葉風琴製作所}を設立して、

帝国議会始・1890＝39歳： 第3回内国博覧会で有功賞を受賞した。

足尾鉾毒始・1891＝40歳： 出資者脱退のため、個人経営の{山葉楽器製造所}を設立し、

大本教・・・1892＝41歳： モートリー商会を通じて、東南アジアにオルガンを輸出し、日本初の楽器輸出を実現。

日清戦争始・1894＝43歳： 先行する{西川風琴製造所}と熾烈な競争・宣伝合戦を繰り広げるうち、

日清戦争終・1895＝44歳： 西川虎吉が奇妙な松本新吉解雇広告を出すなど、自滅していったことから、

白馬会・・・1896＝45歳：

八幡製鉄始・1897＝46歳： *資本金10万円で{日本楽器製造株式会社}を設立し、初代社長に就任した。

Bushidou・・1899＝48歳： 伊沢修二の後援で、文部省の斯業技術視察者に任じられ、

ピアノ国産化・1900＝49歳： ピアノ工業全盛期だったアメリカへ渡り、詳細な視察記録を作成し、部品や工具を購入して帰国、

既に育っていた若手の技術者らによって、ようやく、アップライト・ピアノの国産に成功する。

教科書疑獄・1902＝51歳： 緑綬褒章。火災で工場を全焼するも、たちまち再建。

日比谷公園・1903＝52歳： 第五回内国勲業博覧会で、皇室買上げの榮譽。グランド・ピアノの製造も開始。

日露戦争始・1904＝53歳： セントルイス万博にも出品して受賞。

日露戦争終・1905＝54歳： *この頃には、ピアノ・オルガンとも生産日本一となり、

アメリカの視察で、高級家具製造分野への進出も決意、静岡県内で木工・漆器・下駄などの会社を設立する一方、静岡農工銀行・浜松電気などの取締役を務め、

アヲヲ創刊・1908＝57歳： 満州の大連に支店を開設し、楽器のほか建築・家具・装飾等も手がける。

伊藤博文暗殺 1909＝58歳： 共益商社を買収して東京支店とし、直売方式に変える。シアトルでのアラスカユーコン太平洋博覧会に梨地塗りのピアノを出品して受賞。

大逆事件判決 1911＝60歳： 浜松市会議員。ロンドンでの日英大博覧会に七宝蒔仕上げのピアノを出品などするが、

明治天皇没・1912＝61歳： *明治天皇崩御すると、音楽自粛となって売上が急減、株主総会も紛糾して引退、

第一次大戦始 1914＝63歳： 第一次大戦が始まってドイツの生産が止まり、その代替で一挙に復活し、

民本主義・・1916＝65歳： 新たな急成長を見ながら、没した。